

ポジティブ・インパクト・ファイナンス

モニタリング結果

(2023年6月1日～2024年12月31日)

2025年1月31日

当行は、ポジティブ・インパクト・ファイナンス（以下、「PIF」といいます）の取り扱いを2023年6月1日より開始しました。開始に際しては、当行のPIF評価実施体制がPIF原則に適合している旨のセカンドオピニオンを、株式会社格付投資情報センターより取得しています。

取り扱い開始以降、今次モニタリングの基準日である2024年12月末までに19先（延べ25件）に対してPIFを実行しました。業種としては、不動産業（6先、31.6%）や製造業（5先、26.3%）向けの実行が多くなっています。なお、個別の案件において設定する目標およびKPI等のPIF原則への適合性は当行自身が確認しています。

モニタリングの対象は、原則として「モニタリング基準日までにPIF実行後1年経過した先」としています。また、あるPIF実行先に対して追加でPIFを実行する場合、初回実行より1年未経過であっても、既存の目標・KPIの進捗を確認しているため、これもモニタリング対象としています（以下、「追加実行した先」といいます）。今次モニタリング対象は、これらあわせて8先となっています（不動産業 4先、製造業2先、貸金業2先）。

今次モニタリング対象先において、インパクト評価を通じて特定されたインパクトカテゴリーの傾向は以下のとおりです。

ポジティブインパクト（PI）：社会面では「雇用」、環境面では「資源効率・安全性」、経済面では「包摂的で健全な経済」の特定が多かった

ネガティブインパクト（NI）：社会面では「エネルギー」、環境面では「資源効率・安全性」「気候」の特定が多かった。経済面では顕著な特徴はなかった

上記のPI/NIの傾向から、目標・KPIについては、「女性管理職比率」や「CO₂排出量削減」などを設定する案件が見られました。今次は、モニタリング対象8先合計でPI：47項目、NI：33項目の目標・KPIを確認しました。定性的な目標や、目標値の期限未到来の項目を除いた目標達成率は、PI/NIともに90%でした。

次頁以降に具体的なモニタリング結果を詳述しますのでご参照ください。

モニタリング対象抽出・目標達成率算定の考え方について

- モニタリングの対象は、原則として「モニタリング基準日までにPIF実行後1年経過した先」としています。また、「追加実行した先」も対象としています。今次モニタリング基準日は2024年12月末となります。
- 目標・KPIの設定状況に応じて目標達成状況の判定を行い、目標達成率を算定しています（詳細は下図赤枠をご参照ください）。

当行が実行したPIF全先

モニタリング実施対象

「モニタリング基準日までにPIF実行後1年経過した先」または「追加実行した先」

定量目標

設定した目標を達成していたもの
(目標には最終目標だけでなくマイルストーン目標も含む)

設定した目標を達成していなかったもの

設定した目標期限が到来していないもの等
(例：2030年CO₂排出量 基準年比▲50%)

定性目標

KPI未設定で目標が定性的なもの等

判定

達成…①

未達…②

未済

定性

今次モニタリング対象

今次モニタリングの
目標達成率算定対象

$$\text{目標達成率} = \frac{\text{①}}{(\text{①} + \text{②})}$$

モニタリング時に
進捗をヒアリング
(目標達成率算定対象外)

今次モニタリング対象先のインパクトカテゴリー別目標・KPI設定状況

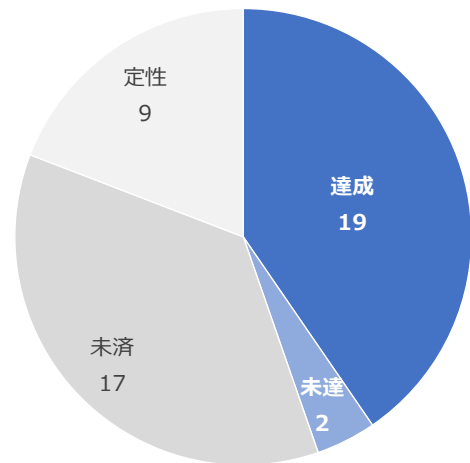
- モニタリング基準日現在におけるPI実行先19先のインパクトカテゴリー別の目標・KPIの設定状況は下表のとおりです。全体で、ポジティブインパクト（PI）に係る目標・KPIが78項目、ネガティブインパクト（NI）に係る目標・KPIが63項目となっています。
- このうち、今次モニタリング対象8先については、PIに係る目標・KPIが47項目（全体の60%）、NIに係る目標・KPIが33項目（全体の52%）でした。

インパクトカテゴリー		ポジティブインパクト（PI）			ネガティブインパクト（NI）		
		合計	モニタリング対象	モニタリング対象外	合計	モニタリング対象	モニタリング対象外
社会 入手可能性、アクセス可能性、 手ごろさ、品質（一連の固有の 特徴がニーズを満たす程度）	① 水	0	0	0	0	0	0
	② 食糧	0	0	0	0	0	0
	③ 住居	2	1	1	1	1	0
	④ 健康・衛生	4	1	3	0	0	0
	⑤ 教育	1	1	0	0	0	0
	⑥ 雇用	21	10	11	12	2	10
	⑦ エネルギー	6	4	2	6	4	2
	⑧ 移動手段	1	0	1	0	0	0
	⑨ 情報	0	0	0	0	0	0
	⑩ 文化・伝統	3	2	1	1	0	1
	⑪ 人格と人の安全保障	2	2	0	0	0	0
	⑫ 正義	1	0	1	0	0	0
	⑬ 強固な制度・平和・安定	0	0	0	0	0	0
社会 計		41	21	20	20	7	13
環境 質（物理的・化学的構成・ 性質）の有効利用	⑭ 水（質）	0	0	0	0	0	0
	⑮ 大気	0	0	0	1	0	1
	⑯ 土壌	0	0	0	0	0	0
	⑰ 生物多様性と生態系サービス	0	0	0	0	0	0
	⑱ 資源効率・安全性	12	8	4	16	11	5
	⑲ 気候	7	5	2	20	11	9
	⑳ 廃棄物	2	0	2	3	1	2
環境 計		21	13	8	40	23	17
経済 人と社会のための 経済的価値創造	㉑ 包摂的で健全な経済	12	11	1	3	3	0
	㉒ 経済収束	4	2	2	0	0	0
経済 計		16	13	3	3	3	0
合計		78	47	31	63	33	30

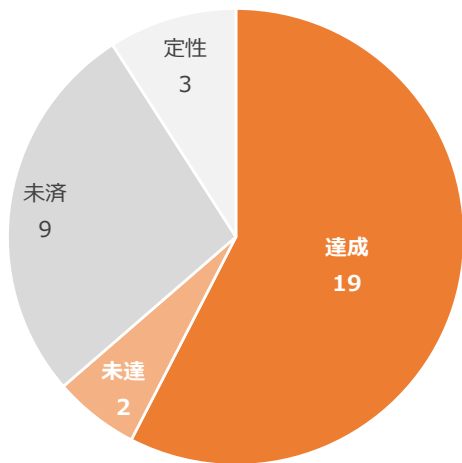
複数のインパクトカテゴリーを対象として、あるいはPI/NI双方に紐づくものとして、ひとつの目標を設定することもあります（項目数としては重複カウントしています）

モニタリング結果：目標達成率

- 目標・KPIについては、「女性管理職比率」や「CO2排出量削減」などを設定する案件が見られました。今回は、モニタリング対象8先合計でPI：47項目、NI：33項目の目標・KPIを確認しました。
- 定性的な目標や、目標値の期限未到来の項目を除いた目標達成率は、ポジティブインパクト（PI）に係る項目で90%（21項目中19項目達成）、ネガティブインパクト（NI）に係る項目で90%（21項目中19項目達成）、全体で90%（42項目中38項目達成）でした。
- なお、目標の達成・未達成に関わらず、すべての項目で要因を確認しております。また、定性目標を設定している場合など、目標達成率算定対象外の項目についても、お客様へのヒアリングを通じて取り組みの高度化などの進捗を確認しています。



ポジティブインパクト（PI）							
目標達成率算定対象							
	達成率	小計	達成	未達	未済	定性	合計
社会	88%	8	7	1	10	3	21
環境	100%	5	5	0	4	4	13
経済	88%	8	7	1	3	2	13
合計	90%	21	19	2	17	9	47



ネガティブインパクト（NI）							
目標達成率算定対象							
	達成率	小計	達成	未達	未済	定性	合計
社会	67%	3	2	1	3	1	7
環境	100%	16	16	0	5	2	23
経済	50%	2	1	1	1	0	3
合計	90%	21	19	2	9	3	33

※ 「達成」「未達」「未済」「定性」の考え方についてはP2をご参照

ご参考：モニタリング結果 内訳（ポジティブインパクト）

・ポジティブインパクト（PI）に係る目標・KPIのモニタリング判定の内訳は下表の通りです。

		目標達成率（ポジティブ）				未済	定性	合計
インパクトカテゴリー		達成率	達成	未達	小計			
社会 入手可能性、アクセス可能性、 手ごろさ、品質（一連の固有の 特徴がニーズを満たす程度）	① 水	-	0	0	0	0	0	0
	② 食糧	-	0	0	0	0	0	0
	③ 住居	100%	1	0	1	0	0	2
	④ 健康・衛生	100%	1	0	1	0	0	4
	⑤ 教育	100%	1	0	1	0	0	1
	⑥ 雇用	67%	2	1	3	7	0	21
	⑦ エネルギー	100%	1	0	1	2	1	6
	⑧ 移動手段	-	0	0	0	0	0	1
	⑨ 情報	-	0	0	0	0	0	0
	⑩ 文化・伝統	-	0	0	0	0	2	3
	⑪ 人格と人の安全保障	100%	1	0	1	1	0	2
	⑫ 正義	-	0	0	0	0	0	1
	⑬ 強固な制度・平和・安定	-	0	0	0	0	0	0
社会 計		88%	7	1	8	10	3	41
環境 質（物理的・化学的構成・ 性質）の有効利用	⑭ 水（質）	-	0	0	0	0	0	0
	⑮ 大気	-	0	0	0	0	0	0
	⑯ 土壌	-	0	0	0	0	0	0
	⑰ 生物多様性と生態系サービス	-	0	0	0	0	0	0
	⑱ 資源効率・安全性	100%	3	0	3	2	3	12
	⑲ 気候	100%	2	0	2	2	1	7
	⑳ 廃棄物	-	0	0	0	0	0	2
環境 計		100%	5	0	5	4	4	21
経済 人と社会のための 経済的価値創造	㉑ 包摂的で健全な経済	88%	7	1	8	3	0	12
	㉒ 経済収束	-	0	0	0	0	2	4
経済 計		88%	7	1	8	3	2	16
合計		90%	19	2	21	17	9	78

ご参考：モニタリング結果 内訳（ネガティブインパクト）

・ネガティブインパクト（NI）に係る目標・KPIのモニタリング判定の内訳は下表の通りです。

		目標達成率（ネガティブ）				未済	定性	合計
インパクトカテゴリー		達成率	達成	未達	小計			
社会 入手可能性、アクセス可能性、 手ごろさ、品質（一連の固有の 特徴がニーズを満たす程度）	① 水	-	0	0	0	0	0	0
	② 食糧	-	0	0	0	0	0	0
	③ 住居	100%	1	0	1	0	0	1
	④ 健康・衛生	-	0	0	0	0	0	0
	⑤ 教育	-	0	0	0	0	0	0
	⑥ 雇用	0%	0	1	1	1	0	12
	⑦ エネルギー	100%	1	0	1	2	1	6
	⑧ 移動手段	-	0	0	0	0	0	0
	⑨ 情報	-	0	0	0	0	0	0
	⑩ 文化・伝統	-	0	0	0	0	0	1
	⑪ 人格と人の安全保障	-	0	0	0	0	0	0
	⑫ 正義	-	0	0	0	0	0	0
	⑬ 強固な制度・平和・安定	-	0	0	0	0	0	0
社会 計		67%	2	1	3	3	1	20
環境 質（物理的・化学的構成・ 性質）の有効利用	⑭ 水（質）	-	0	0	0	0	0	0
	⑮ 大気	-	0	0	0	0	0	1
	⑯ 土壌	-	0	0	0	0	0	0
	⑰ 生物多様性と生態系サービス	-	0	0	0	0	0	0
	⑱ 資源効率・安全性	100%	8	0	8	2	1	16
	⑲ 気候	100%	7	0	7	3	1	20
	⑳ 廃棄物	100%	1	0	1	0	0	3
環境 計		100%	16	0	16	5	2	40
経済 人と社会のための 経済的価値創造	㉑ 包摂的で健全な経済	50%	1	1	2	1	0	3
	㉒ 経済収束	-	0	0	0	0	0	0
経済 計		50%	1	1	2	1	0	3
合計		90%	19	2	21	9	3	63